



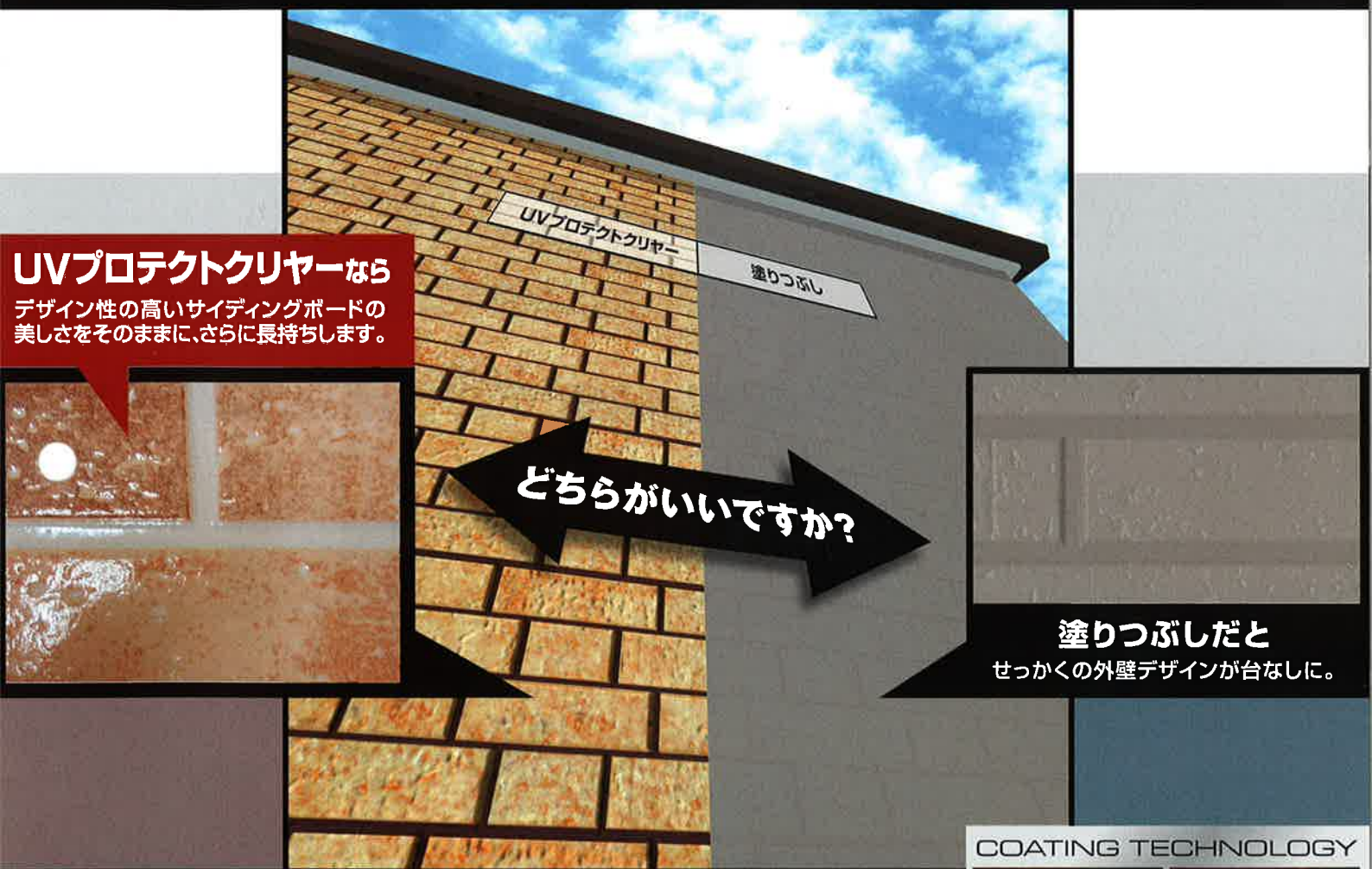
UVプロテクトクリヤー



高意匠サイディングボード用

セラミック系外壁保護クリヤー

PURERIDE UV PROTECT CLEAR



UVプロテクトクリヤーなら
デザイン性の高いサイディングボードの
美しさをそのままに、さらに長持ちします。

どちらがいいですか?

塗りつぶしだと
せっかくの外壁デザインが台なしに。

COATING TECHNOLOGY



世界をリードする日本の自動車産業、
そのコーティングテクノロジーを支える日本ペイントだからできる発想。

日本建築仕上材工業会登録
ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

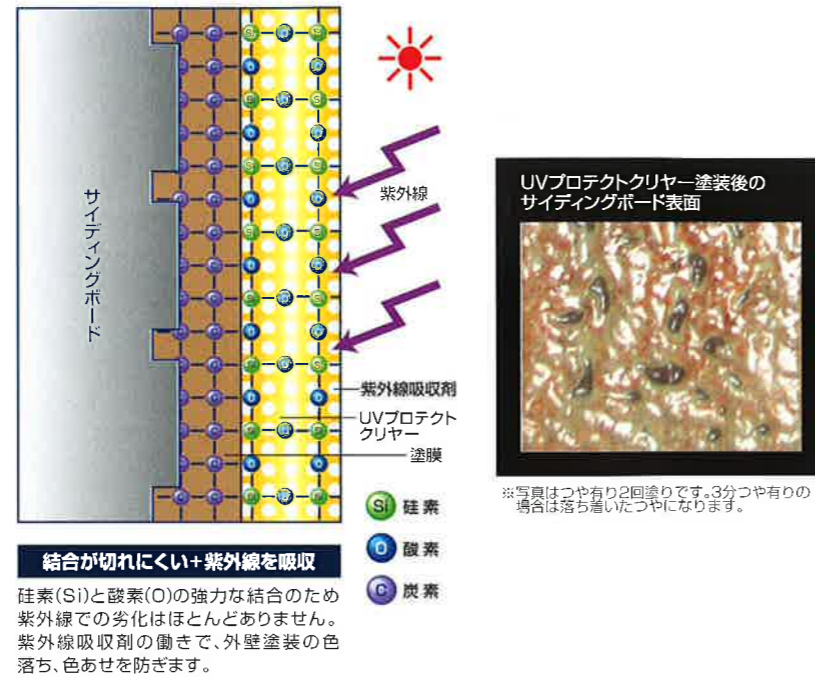


耐久性

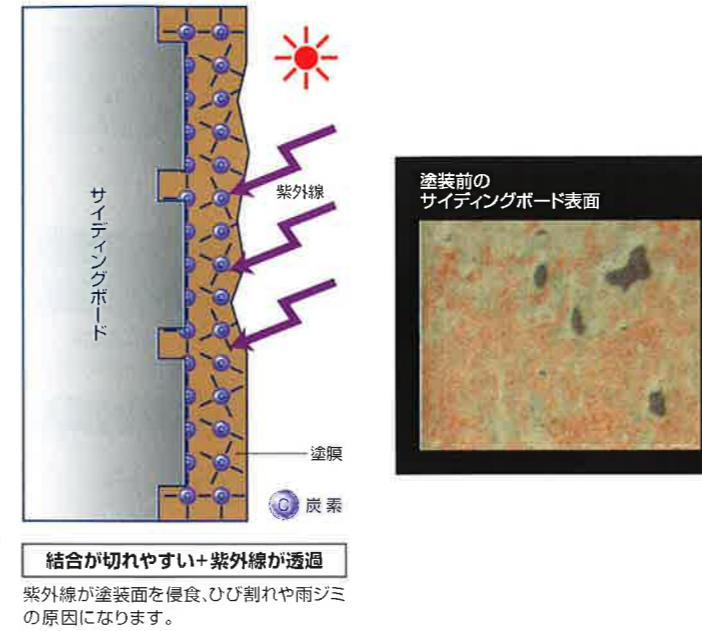
外壁の美しさを長持ちさせるUVプロテクトクリヤー。

UVプロテクトクリヤーはセラミック系樹脂を使用。緻密で強力に結合した分子構造と紫外線吸収剤の働きで、外壁の劣化を長期間おさえます。UVプロテクトクリヤーなら、サイディングボードを新築時に近い風合いのまま、長期に維持できます。

【UVプロテクトクリヤーの場合】



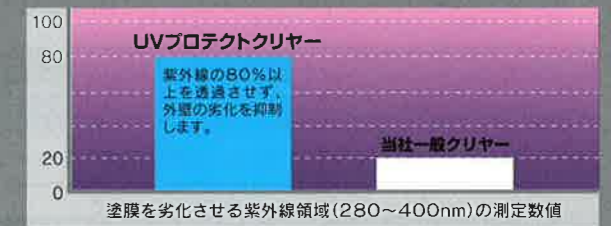
【一般的な塗装の場合】



■紫外線(UltraViolet)とは・・・

一般に紫外線とは地球上に降り注ぐ太陽光線の種類で、目で見ることの出来ない電磁波のことです。地球上に到達する太陽光線は波長の長さにより、紫外線、赤外線、可視光線などに分けられます。なかでも紫外線は波長の短いエネルギーの高い電磁波です。紫外線は波長の長さにより、UVA(紫外線A波)、UVB(紫外線B波)、UVC(紫外線C波)、に分けられます。UVCは大気に阻まれ地上に届くことはありません。ですからUVAとUVBが、日常意識することなく浴びている紫外線ということになります。この280~400nmの紫外線が私達の皮膚に悪影響を及ぼすのと同様に塗膜組織を破壊します。

▶ UVプロテクトクリヤーと一般クリヤーの紫外線抑制率比較



適用下地 高意匠サイディングボード

- (注)劣化後のサイディングボードには適用しておりません。
- 光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
 - シーリング面は塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こす場合がありますので塗装を避けてください。

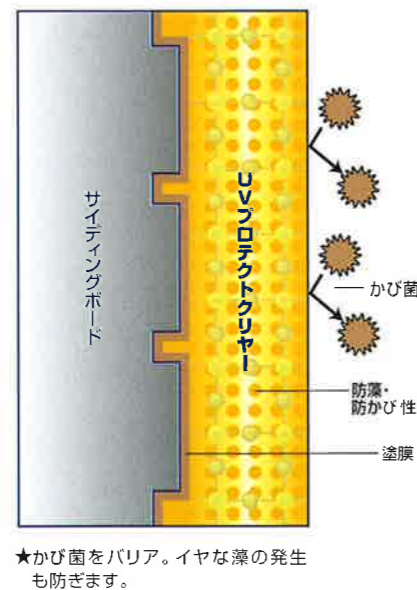
日々、紫外線や風雨にさらされている家の外壁。新築~10年以内に、外壁がきれいな状態でのUVプロテクトクリヤーの使用をお勧めします。

超低汚染性

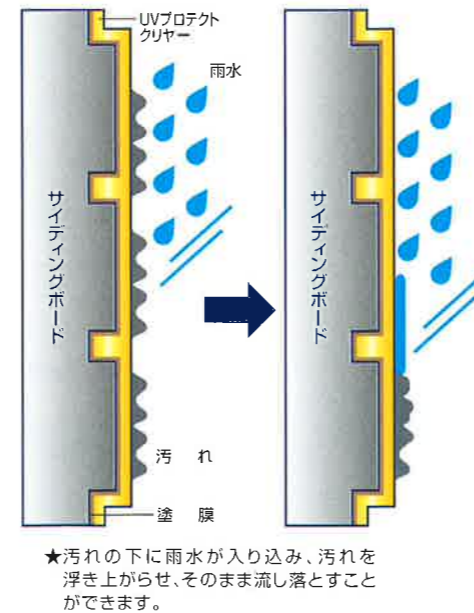
汚れやかびに強い外壁に生まれ変わります。

UVプロテクトクリヤーを施した外壁なら、表面に付着した汚れを、雨が浮かせて流すことができます。さらに、UVプロテクトクリヤーには防かび・防藻性があり、イヤなかび菌や藻の発生を長期間にわたり抑制することができます。それらの性能により、お家の外観を長期間清潔に、美しく保つことができます。

【防かび・防藻性】



【雨で汚れが浮き上がり、流れます】

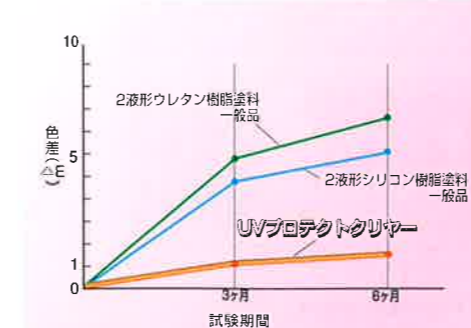


超低汚染性 ~雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験~

●雨垂れ暴露促進試験による汚染性能試験
屋外にて塗板を暴露し、雨筋状の汚れのつく程度を目視により測定します。試験開始6ヶ月後では、当社の一般のシリコン樹脂塗料やウレタン樹脂塗料と比べて、雨筋状の汚れが少ないことがわかります。

＜超低汚染のメカニズム＞
雨垂れによる汚染などを防止するためには、塗膜表面が水になじむような性質(親水性)であることが重要です。カーボン等の汚染物質には油の性質があり、塗膜表面も水をはくような性質(疎油性)を持っていると、汚染物質が表面に付着しやすくなります。しかし塗膜表面親水性であると、油の性質の汚染物質は付着しにくく、降雨時の雨水が汚染物質を一緒に流すことができます。

【超低汚染性比較データ】(実施場所:大阪・寝屋川市)



※ΔEの数値が小さいほど、耐汚染性にすぐれていることを示しています。
※建物の構造によっては低汚染性が発揮されにくい場合があります。

※サイディングの劣化状況によりお勧め期間が変わります。

▶ 施工実績

東久留米市 T様邸



▼塗り替え前(サイディング)



標準塗装仕様(塗り替えの場合)

●各種外壁 高意匠サイディングボードなどのクリアー仕上げ

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	高意匠サイディングボード面を補修したのち水洗いし、十分に乾燥させてください。エポキシ注入材による汚れは変色する恐れがありますので溶剤などで完全に除去してください。エフロレッセンスはスクレーパー、ワイヤーブラシなどで削り落とし除去してください。酸性洗剤などを用い溶解する場合は、その後十分に水洗いし、乾燥してください。その後pH試験紙などを用いて、塗装面が中性であることを確認してから塗装してください。(pH6~8)						
下塗り	UVプロテクトクリアー(つや有り)	1	0.12~0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10	エアスプレー エアレススプレー ウルローラー・ほけ※
上塗り	UVプロテクトクリアー(つや有り・3分つや有り)	1	0.12~0.14	—	塗料用シンナーA	20~40 5~10 0~10	エアスプレー エアレススプレー ウルローラー・ほけ※

(注)・上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

- ・施工上の要点および注意事項をよくご確認ください。
- ・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
- ※ダれた塗料が溜まった場合に、目地はけで広げる

商品体系

商品名	系統	容量	色相	つや	塗り面積/缶当り/1工程	ポットライフ(23℃)
UVプロテクトクリアー	セラミック系外壁保護クリアー	15kgセット(■12kg ■3kg)	透明	つや有り 3分つや有り	115m ²	6時間
		3kgセット(■24kg ■06kg)			23m ²	

施工上の注意事項

(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- 被塗物の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗剤/アルカリ性洗剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行なってください。薬剤が面に付着したまま本品を塗ると塗膜のちみち、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗面に押し当てて測定してください。
- 光触媒処理のサイディングボードには適用していません。
- 光触媒処理をした素材には、酸腐食化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- 表面のこみ、ほこりなどは除去し、目地が、ジャンクなどがある場合正常面と同色になるように着地補修を行ってください。
- シーリング面は、マスキングテープ等で養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、腐蝕などの不具合を起こすことがあります。
- エフロレッセンスなど汚れの除去で素地の洗浄を行う場合、薬剤(酸、洗剤など)が残らないよう、後水洗は十分行い、乾燥した素地面にしてください。
- ざび汁などがある場合は、サンドペーパーで除去してください。
- ぬい込みやすきこみ等は使用量が多くなります。
- つや消し系を使用の際は、ぬい込みが著しい場合は、乾燥後ぬい込みむらによる目地の白化(つや消し剤のため)を生じることがありますので、1回目の塗装時に表面に塗膜が残らないよう場合はつや有りを塗り直し、もしくはコートしてぬい込みを止めてから上塗り塗装してください。下塗りには必ずつや有りを使用してください。つや消し系を下塗り用に使いますと前述の目地白化が生じやすくなります。
- 目地が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- 目地の塗料の塗りや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- すでに旧塗膜がある場合は、腐み、はく離を生じることがありますので、ケレンしてから塗装してください。
- 塗装後は濡れ期になるため、既存色より濃くなりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。
- 仕上がりムラになりやすいため、ニップカラー・マグネットや各種現色調色用色剤を使用して調色することは避けてください。
- クリアー仕上げは下地の状態をそのまま表出してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすめできません。ヘアークラックなどの発生がなく、かつ築後10年以上経過していることを一応の目安にしてください。
- 下塗り材にエポキシ樹脂塗料(二液反応性シーラー(新)など)は使用しないでください。変色、はく離の可能性がります。
- 近年したサイディングボード面への塗装は、劣化が進行しており、表面劣化部から剥落する恐れがあります。試験施工をおこなって密着性を確認してください。
- 本製品は、優れた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が、塗料液や硬化剤に混入しないようにしてください。また空気中に含まれた水分や湿度とも敏感に反応します。必ず密栓し、冷蔵庫に保管してください。開封後の、マスキングテープなどの封は必ず十分です。
- 開封後の保管(6ヶ月以上)は避けてください。また、開封後は一度に使い切ってください。
- コーエーエッジコート(エッジコート)が塗られている場合は、ファインクレタN100やファインシリコンフレッシュで補修した後にクリアーを塗装してください。補修用として1液タイプをご利用の場合は、塗装後必ず1日以上乾燥させてください。腐み可能性があります。
- 釘刺しが出ている場合は1液ハイポファインデクロアファインクレタN100などを塗した後クリアーを塗ってください。必ず止め塗装した後にクリアーを塗ることは決してしないでください。
- 塗装後晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。塗膜が不十分である場合、クリアー仕上げのためボードに残った水分の影響による剥離の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
- つや消し系の製品では、ほけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや消し系の製品では、塗り継ぎや補修でつや消し系をつや有り系と通して塗ってください。
- 塗料を希釈すると本来のつやが再現しないおそれがありますので、規定の希釈率を守ってください。
- つや消し系の製品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて底面の沈降物を十分にかきはんし、均一な状態でご使用ください。
- つや消し系は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り見本を参考に試し塗りをしてください。
- つや消し系は、塗料液が分離しやすいので、よくかきはんしながらご使用ください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などによって、本来の密着性が発揮されない場合があります。
- 塗膜面を部分補修する際は、硬化剤の入れ忘れに必ずご注意ください。汚染や劣化の原因になります。
- 高圧水洗のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、汚染物質が室内に入らないようご注意ください。居住者への配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、濡れすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率を守ってください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 硬化剤はイソシアネート含有しているため、蒸気、ミストなどを吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう十分に注意してください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化することがあります。水分の影響を受けたおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 白塗膜に発生した菌、かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が95%以上である場合は、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ず守ってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなくなり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉し、かつ乾燥が滞りますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分にに行ない、火気厳禁にしてください。
- 危険防止のため必ず養生を行ってください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄すぎは隠れい不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大型面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の条件を同一にしてください。
- ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用で使用してください。
- 密閉が多く含まれる塩ビシート、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの素材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 使用前に内容物が均等になるようよくかきはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵庫で保存し、速やかに使い切ってください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

- ※本来の用途以外に使用しないでください。
- ※使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ※熱/火化/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- ※容器を密閉してください。
- ※容器および受器を接地してください。
- ※防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- ※火花を発生しない工具を使用してください。
- ※粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
- ※屋外または換気のよい場所でのみ使用してください。
- ※必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- ※汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
- ※取扱い後は、手洗いは必ず十分に行ってください。
- ※適切な保護手袋/防毒マスクまたは防じんマスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- ※必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ※吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ※飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ※眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- ※肌の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ※皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水でシャワーで洗ってください。
- ※皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- ※取り扱った後、手を洗ってください。
- ※皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ※直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください。取り除いてください。再使用する場合は洗濯してください。
- ※粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ※発熱した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ※緊急時の洗剤が必要の場合、直ちに特別処置を実施する。
- ※火災時には、炭酸ガス、消火機または粉末消火器を用いてください。
- ※水を消火に使用しない。
- ※容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- ※施設で子供の手の届かないところに保管してください。
- ※直射日光や水濡れは厳禁です。
- ※塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- ※日光が直接照射し、換気のよい場所を保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ※内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規制に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ※塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
- ※容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すや環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
- ※詳細な内容、表示以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)を参照してください。
- ※本商品は日本国内での使用に限り、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/遺伝子毒性のおそれ/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起こすおそれ、または、吸気やめまいのおそれ/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性(急性)・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

ペイントかわら版
読者募集! 登録無料
いますぐご登録を。



※QRコードが読み取れない場合はこちらにアクセスしてください。
<http://paintkwaraban.jp/form/>

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●ISO14001を全事業所で認証取得。

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社、日本の他の登録商標または商標です。

●©Copyright 2012 NIPPON PAINT CO., Ltd All rights reserved.

カタログNo.

NP-Q011

AA12040BT
2012年4月現在